



企画 運営 野火止緑道環境保全ボランティア あかねこくらぶ

後援 新座市

協力：十文字学園女子大学生生活環境研究所

ふるさとの緑と野火止用水を育む会（HUG ネット）



<https://butter-thon.com>



野火止緑道 バタフライソン 2024 ハンドブック

新座市後援

公益財団法人サイサン環境保全基金助成事業



バタフライソンとは

「バタフライウォッチング」と「マラソン」を合わせた造語です。元になったのは、野鳥保護活動のチャリティーイベントとして、日本野鳥の会が開催する「バードソン」。決められた1日に野外でどれだけの種類の鳥を確認できるかを競います。また北海道にはこの「バードソン」を植物調査に発展させた「フラワーソン」もあります。

どちらも競争というよりは、自然に親しみ観察してみよう、というイベントで、登録すればだれでも参加できます。

これらは、集まるデータの多さから、貴重な環境調査のデータベースとなっています。

その新座市オリジナルのチョウ版が「野火止緑道バタフライソン」です。

野火止緑道には何種類のチョウがいるのか調べてみよう

野火止緑道では過去5年間に50数種のチョウ類が確認されています。

これは埼玉県西部に生息するチョウ92種の6割弱で、平野部に限定すれば8割近い種類が、このわずか2.5ha、全長1.4kmの市街地で確認できるということになります。これは驚異的なことです。

チョウの種類のおおさは、その環境の植物の多様性を示すバロメーターです。

これまで平林寺の雑木林や伝統的な工法で保存された用水により、この貴重な環境は守られてきました。しかし近年の環境の変化により、チョウの種類が減少が危ぶまれています。そこで、今の野火止緑道の実態をとらえる必要が出てきました。

チョウの種類によって発生時期が違います。また活動するのに適した気温や湿度といった条件から、同じ時期でも見られる日や時間帯が違います。

野火止緑道にチョウが何種類いるのかを調査しようとするれば、1年を通して、多くの参加者に、様々な時間帯で調査してもらおう必要があります。

そのため、1年間のウォッチングマラソンが有効なのです。

そして、どの時期どの植物の近くで見られたかのデータは、今後のチョウの保護活動にも役立てることが出来ます。



バタフライソンの概要

期間	2024年4月1日から2025年3月31日まで。
参加者 資格	<input type="checkbox"/> 一般個人・グループ（社会人・大学生） <input type="checkbox"/> 学校参加グループ <input type="checkbox"/> 家族グループ（10歳以下の子どもが参加する場合は家族単位での参加とする） ※いずれも人数に制限は設けません。
調査方法	<input type="checkbox"/> 種類を調べる の設定した調査ルートで確認されたチョウの種類を記入。 月に何回でも、週に何回でも、時間帯は問いません。 可能であれば特徴のわかる写真（翅を広げた状態、閉じた状態など）を撮影。 ※写真は必須ではありません。 ※写真が取れなかった場合は、種類を見分ける決め手になった特徴を記録。（例：大きさ、翅の表（裏）側の色、模様等。
必要な 道具	<input type="checkbox"/> このハンドブック <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 時計 <input type="checkbox"/> ポケット図鑑 <input type="checkbox"/> カメラ（記録のため、デジカメ、スマホいずれも可） <input type="checkbox"/> 双眼鏡（あると便利） <input type="checkbox"/> 補虫網（観察に必要な場合）
提出方法	調査記録紙を提出 ● Excelの記録用紙（バタフライソンホームページ https://butter-thon.com からダウンロード）に直接入力。 PDFにしたものをメールフォームに添付して送信。 または5ページ用の紙をA4に拡大コピー。手書き記入し写真を貼つたものをPDFにしてメールフォームに添付して送信 （ファイル名の付け方は③ページに記載しています） ● 紙ベースで提出する場合は、藤原製作所わき野菜直売所に設置されたポストに投函。 ※ 提出した写真の元データはタイトルをつけて保存しましょう。 ※ 標本は受け付けません。
結果発表	● 調査の結果はバタフライソンホームページに掲載します。 ● 年間最多発見賞、月間最多発見賞、1日最多発見賞等、優秀者を発表 ● 春と秋にホームページにてフォトコンテストを行います。



ちょうさ きろく きにゆう ほうほう 調査記録の記入方法

ハンドブックの5ページの記録用紙をコピーして使うか、バタフライソンのホームページからエクセルのファイルをダウンロードすることもできます。

きにゆうれい
記入例

バタフライウォッチングマラソン 調査記入用紙	
登録番号 ①	0000 グループ名 00000
調査日 ②	6月9日 確認エリア ③ A B C D E F ④ H
時刻 ④	10:00~12:00 天候 ⑤ 快晴 ⑥ 晴 薄曇り 曇り 雨 その他
気温 ⑥	26~21℃ 風力 ⑦ 0 1 ⑧ 3 4 5 (※)
種名 ⑧	ムラサキシジミ

(※) 0煙がまっすぐの上ってゆく 1煙がなびくが風速計では測れない 2顔に風を感じる、木の葉が動く 3葉っぱが絡まず動いている 4ホコリが舞い上がり木の枝が動く 小さな木が揺れ動き、水面にさざ波が立つ

- 登録番号とグループや個人の名前を記入。() 書きで調査者の名前を記入してもOK。
- 調査した日を記入します。
- 6ページのマップに示されたエリアに○を付けます。
- 大体の時刻、詳しくわからなければ時間帯でもよいです。
- その時の天気
- その日の新座市の最高~最低気温を記入。ネットなどで調べられます。
- 風力は調査用紙の一番下に目安が書かれています。
- 種名を調べて記入。どうしてもわからなければ未記入でもOKです。
- 写真を貼りつけます、データを読み込んでも印刷してノリで貼ってもOK。
- ファイルを保存。PDFで書き出します。ファイル名は登録番号 チョウ種名 月日 の順に付けます。

例：1234ナミアゲハ0501.pdf

登録番号 チョウ種名 月日



ちょうさ ちゆうい 調査するときの注意

① 捕まえたチョウは必ずもといた場所に返してください。
観察のために捕まえたチョウは写真に撮ったり、観察した後必ず元居た場所に返してください。

② 危ないところへは行かない。
写真は必ず提出しなければならぬものではありません。
柵を超えて用水に近づくのはとても危険です。
離れていて確認しづらい時のために双眼鏡を持っていきましょう。
写真が無くても目視で特徴がわかればデータとして受け付けますので、無理に写真を撮る必要はありません。

③ 小学生は一人で行動しない
一人での行動は危険です。必ず2名以上で調査に行きましょう。
また、調査も2名以上の方が気づきやすいです。

④ スズメバチに注意
蜜や獲物を探しているだけならそれほど危険はありません。
スズメバチを見つけても、騒がず、走ったりしないで通り過ぎましょう。
大きな音を出したり、追い払おうとすると、攻撃してきます。
また巣に近づくとブンブンと激しい羽音を立てて警告してきます。
決してそれ以上先に進まず、ソーっともと来た道に戻りましょう。
黒いものを攻撃する習性があるので、黒い服は避けて、明るい色の帽子をかぶりましょう。

⑤ 虫に刺されないために
昼間はあまり蚊などの刺す虫はいません。ただ、用水近くの草むらには昼間でも蚊がいますしマダニもいるかもしれません。
虫に刺されないためには遊歩道を歩き草むらに入らないようにしましょう。
それでも虫が気になる場合は、虫よけスプレーをしてゆくとよいでしょう。
虫よけスプレーを持ってゆくときはガス入りではないものにしましょう。
また殺虫剤タイプの虫よけは使わないでください。

バタフライウォッチングマラソン 調査記入用紙

登録番号	グループ名												
調査日	月	日	確認エリア	A	B	C	D	E	F	G	H	<input type="radio"/>	
時刻	~	天気		快晴	晴	薄曇り	曇り	雨	その他	<input type="radio"/>			
気温	℃	風力		0	1	2	3	4	5	(※)	<input type="radio"/>		
種名													

<写真を貼り付け、または特徴を記入>

<写真を貼り付け、または特徴を記入>

<写真を貼り付け、または特徴を記入>

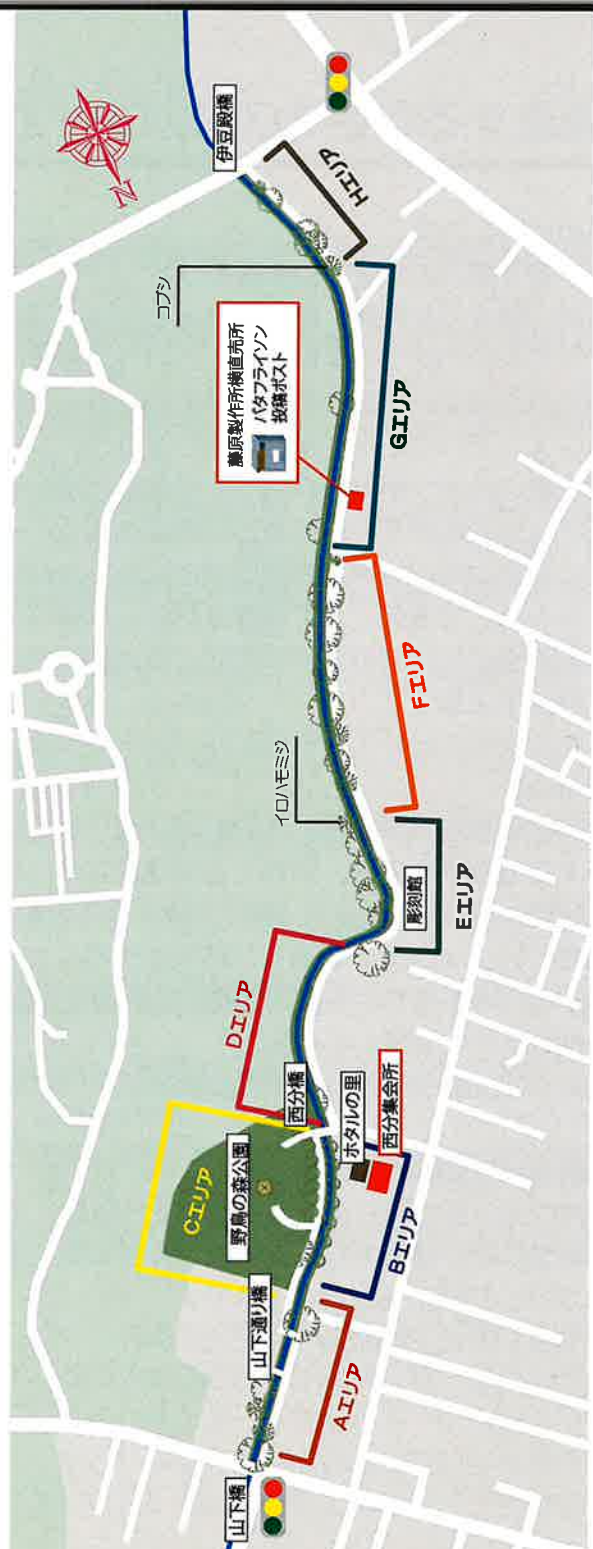
<写真を貼り付け、または特徴を記入>

<写真を貼り付け、または特徴を記入>

<写真を貼り付け、または特徴を記入>

(※) 0煙がまっすぐに上ってゆく 1煙がなびくが風速計では測れない 2顔に風を感じる、木の葉が動く 3葉っぱが絶えず動いている 4ホコリが舞い上がり木の枝が動く 小さな木が揺れ動き、水面にさざ波が立つ

調査エリア MAP



※ G・Hのエリアは車道もあります。投稿ポストを使う時は、^{ちゅうりゆう}車道に出るときは飛び出しには注意してください。



① 写真を撮るのは難しい？

鮮明できれいな写真を撮るのは難しいものです。
写真を撮影するのが趣味であれば、高価なカメラやレンズを持っているかもしれませんが、携帯のカメラで撮影する、という人も多いと思います。何という種類かわかればよいので、多少ぼけていても、ぶれていてもかまいません。チャンスがあればどんどん撮りましょう。

ズームレンズ（携帯のカメラ用もあります）があると便利です。
飛び回っているチョウを撮影するには連写の機能を使うと便利です。
動画も使えます。再生して、目当ての場面のところで一時停止し、スクリーンショットなどで画像として保存すれば、画質は劣りますが調査の記録としては何も残せないよりはいいです。ただしファイルサイズが大きいのので撮りすぎは要注意です。

② 種類を調べたい

どう調べたらよいかわからない、というときは、「**リンネレンズ**」や「**バイオーム**」というアプリが便利です。無料で使えます（リンネレンズ無料版は1日の検索数に制限付き）

ただし、写真の撮り方によっては間違っただけの結果が出ることもあるので、複数の写真で試したり、インターネットで逆検索するなどして確認しましょう。

リンネレンズ：<https://lens.linne.ai/ja/>

バイオーム：<https://biome.co.jp/app-biome/>

③ 1年間も調査を続けるのは大変？

1年間定期的に続ける必要はありません。学生なら夏休みだけとか、月に1回でも、長い時間かけて調査するのもいいでしょう。何も決めず時間が空いた時、気が向いた時でもいいでしょう。

それぞれのやりやすい方法で参加してください。



アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	タテハチョウ科	アカタテハ
	オナガアゲハ ★		アカボシゴマダラ
	カラスアゲハ		アサギマダラ ★
	キアゲハ		イチモンジチョウ
	クロアゲハ		キタテハ
	カラスアゲハ		クロコノマチョウ ★
	ジャコウアゲハ ★		クロヒカゲ
	ナガサキアゲハ		ゴマダラチョウ
	ナミアゲハ		コムスジ
	モンキアゲハ ★		コムラサキ ★
シロチョウ科	キタキチョウ		サトキマダラヒカゲ
	スジグロシロチョウ		ジャノメチョウ
	ツマキチョウ ★		テングチョウ
	モンキチョウ		ツマグロヒョウモン
シジミチョウ科	アカシジミ ★		ヒオドシチョウ ★
	ウラギンシジミ		ヒカゲチョウ
	ウラナミアカシジミ ★		ヒメアカタテハ
	ウラナシジミ		ヒメウラナミジャノメ
	ツバメシジミ		ホシミスジ
	ベニシジミ		ルリタテハ
	ミスイロオナガシジミ ★	セセリチョウ科	イチモンジセセリ
	ムラサキシジミ		キマダラセセリ
	ムラサキツバメ ★		コチャバネセセリ
	ヤマトシジミ		ダイミョウセセリ
	ルリシジミ		チャバネセセリ

ここに掲載されているのは2017年から2022年にかけて野火止緑道で確認されたチョウです。どのチョウを見つけたか、調べる手引きにしてください。

毎年同じように見られるとはかぎりません
種類によって、よく見られる年もあれば見られない年もあります。

★印はあまり数が多い、野火止緑道では珍しいチョウです。



野火止緑道のチョウたち

春型・夏型、♂・♀、翅の裏表と、なるべく特徴がわかるようにしていますが、詳しいことはお手持ちの図鑑などで確認してください。
写真の横にある数字は12ヶ月を表していて、カラーで表示された月によく活動します。



アゲハチョウ科 アオスジアゲハ



アゲハチョウ科 キアゲハ



アゲハチョウ科 ナミアゲハ 左♂ 右♀ ♀は黄色味がやや強く後翅赤斑が目立つ



アゲハチョウ科 クロアゲハ ♂は後翅表前側に白斑がある。赤斑は目立たない。



アゲハチョウ科 カラスアゲハ 左♂ 右♀ ♀は後翅表のブルーが目立つ



アゲハチョウ科 ナガサキアゲハ 左♂ 右♀ 雌雄で全く見た目が違う



アゲハチョウ科 オナガアゲハ



アゲハチョウ科 ジャコウアゲハ



アゲハチョウ科 モンキアゲハ



シロチョウ科 スジグロシロチョウ



シロチョウ科 モンシロチョウ 左♂ 右黄色味が強いのが♀、白っぽいのが♂



シロチョウ科 ツマキチョウ 独特の前翅の形、翅裏の模様を持っている。



シロチョウ科 モンキチョウ 左♀の翅表は♂より白い。閉じると♀♂とも黄色。



シロチョウ科 キタキチョウ



シジミチョウ科 ルリシジミ



シジミチョウ科 ヤマトシジミ 左♂ ♀の翅表は灰褐色。



シジミチョウ科 ミズイロオナガシジミ



シジミチョウ科 アカシジミ



シジミチョウ科 ウラナミアカシジミ



シジミチョウ科 ウラナミシジミ

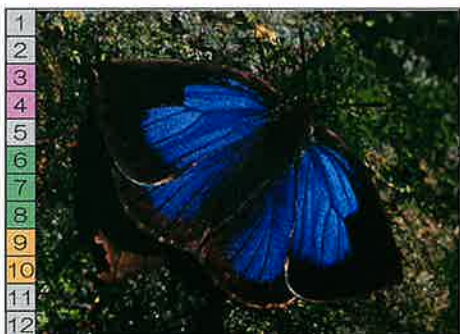


シジミチョウ科 ベニシジミ 翅の色には個体差がある





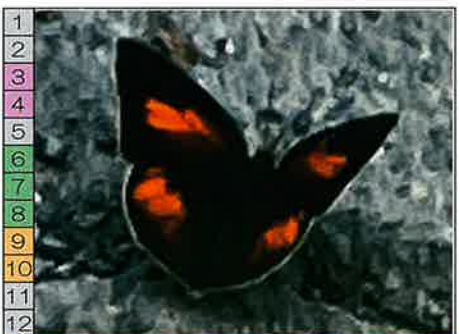
シジミチョウ科 ツバメシジミ 左右とも♂ ♀は翅表が黒褐色



シジミチョウ科 ムラサキシジミ 左♀ ♂は前翅の黒い部分の面積が小さい



シジミチョウ科 ムラサキツバメ 左♀ ♂は翅全体が鈍いブルー



シジミチョウ科 ウラギンシジミ 左♂ ♂は褐色が濃い 翅裏は名前通り銀灰色



タテハチョウ科 イチモンジチョウ 翅を閉じると鮮やかなオレンジ



タテハチョウ科 コミスジ



タテハチョウ科 ホシミスジ



タテハチョウ科 アカタテハ 翅を閉じると枯葉そっくりになる



タテハチョウ科 キタテハ 翅裏は明るいベージュ、秋型は地色がオレンジ色





タテハチョウ科 ヒメアカタテハ



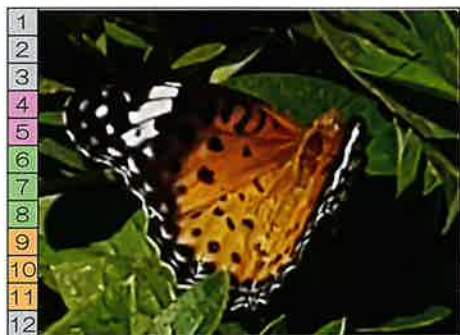
タテハチョウ科 ルリタテハ



タテハチョウ科 テングチョウ



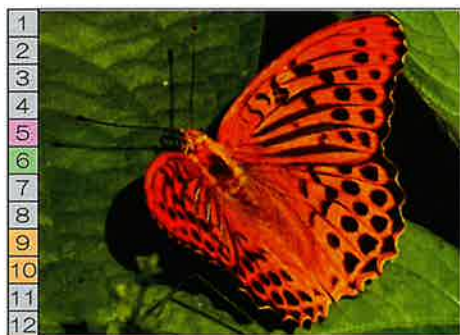
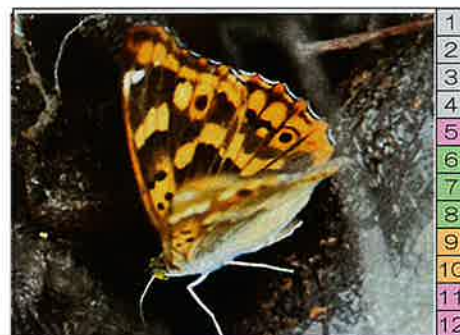
タテハチョウ科 ゴマダラチョウ



タテハチョウ科 ツマグロヒョウモン 左♀ 右♂には前翅先端の黒字に白斑がない



タテハチョウ科 コムラサキ ♀ ♂は♀翅の付け根あたりの褐色部が紫色に光る



タテハチョウ科 ミドリヒョウモン



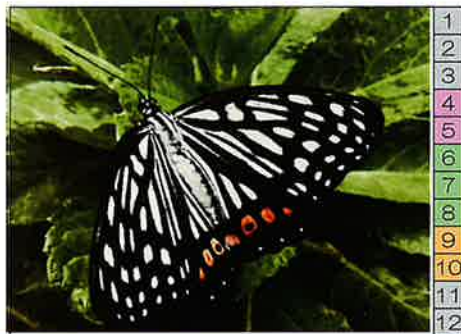
タテハチョウ科 ヒオドシチョウ



タテハチョウ科 アサギマダラ 野火止には渡りの途中立ち寄ることがある



タテハチョウ科 アカボシゴマダラ 左の春型は黒い筋が細く後翅の赤班がない



タテハチョウ科 ヒカゲチョウ



タテハチョウ科 クロヒカゲ



タテハチョウ科 サトキマダラヒカゲ



タテハチョウ科 クロコノマチョウ



タテハチョウ科 シヤノメチョウ



タテハチョウ科 ヒメウラナミシヤノメ



セセリチョウ科 ダイミョウセセリ



セセリチョウ科 チャバネセセリ



セセリチョウ科 イチモンジセセリ



セセリチョウ科 コチャバネセセリ



セセリチョウ科 キマダラセセリ

ここで使用されている写真は主に野火止在任の
チョウ愛好家T.K.氏よりご提供いただきました。
著作権はT.K.氏にありますので、無断での転用
を禁止いたします。

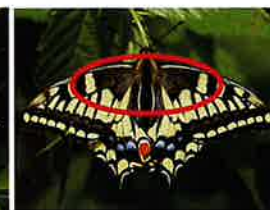
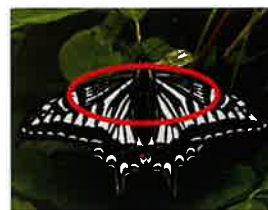
また写真のほとんどは野火止緑道で撮影された
ものですが、モンキアゲハとナガサキアゲハ♀
だけは適切な写真がなかったため、他所で撮影
したものを使っています。



間違いやすいチョウの見分け方

ナミアゲハ

キアゲハ



キアゲハの方が大型で黄色味が強い。
前翅の付け根がアゲハが黒い線状模様
なのに対して、キアゲハはベタで黒い。

どちらも名前通りの模様であるが、飛
んでいる姿は区別が付きにくい。モン
シロチョウが開けた明るい草原や畑地
を好むのに対し、スグロシロチョウは
やや薄暗い林縁等を好む傾向がある。

モンシロチョウ

スグロシロチョウ



ヤマトシジミ

ルリシジミ



サイズはルリシジミの方がやや大きい。
翅を閉じた時の後翅、外側から3列目の
黒点の並び方が、ヤマトシジミでは、
3つの点が直線上に、その後が続く点が
円弧を描くように連なる。

前翅の上から一番目のスジが、
コミスジでは大きく2節ぐらいに分かれ
ているのに対し、ホシミスジでは細かく
いくつにも分かれている。

コミスジ

ホシミスジ

